

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-526822(P2005-526822A)

【公表日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-035

【出願番号】特願2003-581793(P2003-581793)

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/18 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/426 (2006.01)

A 6 1 K 31/704 (2006.01)

A 6 1 K 47/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/78 C

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 31/426

A 6 1 K 31/704

A 6 1 K 47/06

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/22

A 6 1 K 47/36

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/08

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月1日(2005.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アトピー性皮膚炎、アレルギー性接触皮膚炎、脂漏性皮膚炎、放射性皮膚炎、乾燥症、乾癬およびアトピーを治療する局所薬剤を製造するための、プロアントシアニジンの使用。

【請求項2】

腔、直腸、口腔内および眼の粘膜の炎症症状を治療するための、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

プロアントシアニジンがリン脂質との錯体形成体である、請求項 1 ~ 2 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 4】

プロアントシアニジンがグリチルレチン酸と組み合わせて用いられる、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 5】

プロアントシアニジンがさらにテルメステインと組み合わせて用いられる、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 6】

プロアントシアニジンがさらに - ビサボロールと組み合わせて用いられる、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 7】

プロアントシアニジンがさらにピロクトンオラミンと組み合わせて用いられる、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 8】

プロアントシアニジンがさらに湿潤剤および保湿剤と組み合わせて用いられる、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 つに記載の使用。

【請求項 9】

適当な担体と混合して、活性成分としてプロアントシアニジン、グリチルレチン酸およびテルメステインを含む、局所投与用医薬組成物。

【請求項 10】

クリーム、ゲル、ローション、懸濁液、スプレー、軟膏、泡の形体である、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

該担体がスクアレン、脂肪酸、脂肪酸エステル、植物油、天然もしくは合成のトリグリセリドを含む、請求項 9 または 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

該担体がスクアレン、カリテバター、パルミチン酸オクチルおよびオエノテラオイルを含む、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

さらにトコフェロール、アスコルビン酸またはそのエステルを含む、請求項 9 ~ 12 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 14】

酢酸トコフェロールおよびパルミチン酸アスコルビルもしくはテトラパルミチン酸アスコルビルを含む、請求項 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

サリチル酸を含む、請求項 9 ~ 14 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 16】

ヒアルロン酸を含む、請求項 9 ~ 15 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 17】

- ビサボロール、亜鉛ピドレート、アラントイン、ピロクトンオラミンから選択される少なくとも 1 つの化合物をさらに含む、請求項 9 ~ 16 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 18】

該活性成分が以下の濃度で存在する、請求項 9 ~ 17 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物：

- a) リン脂質との錯体形成体であるプロアントシアニジン：0.01% ~ 1%；

- b) グリチルレチン酸：0.1～5%；
- c) テルメステイン：0.01%～1%。

【請求項19】

グリチルレチン酸が1%から2%の範囲の濃度で存在する、請求項18に記載の組成物。

【請求項20】

プロアントシアニジンを含む、アトピー性皮膚炎、アレルギー性接触皮膚炎、脂漏性皮膚炎、放射性皮膚炎、乾燥症、乾癬およびアトピーの局所投与用治療剤。

【請求項21】

さらにテルメステインを含む、請求項20に記載の治療剤。

【請求項22】

さらにグリチルレチン酸を含む、請求項20または21に記載の治療剤。

【請求項23】

さらにサリチル酸、アラントイン、ヒアルロン酸、亜鉛ピドレート、
- ビサボロール、ピロクトンオラミンから選択される1またはそれ以上の薬剤を含む、請求項20～22のいずれか1つに記載の治療剤。